

おぞねっ子通信 2020

2020.11.27

1年生 給食の「りっちゃんのサラダ」～おいしかったね！～

11月26日の給食に、国語科の物語教材で学習した『サラダでげんき』に出てくる「りっちゃんのサラダ」が登場しました。

その日の国語の時間に絵本で出ている『サラダでげんき』の読み聞かせをしました。「あれ？国語のときと違うところがある！」と教材文との違いを発見した子どもたち。学習は終わっているのに全文が頭に入っているのでしょうか。表現の仕方が一部違っていることに気がつきました。原作（絵本）をもとに教材用に再編されたものが教科書には掲載されているのです。子どもたちは内容をしっかり読みとって学習していることがわかりました。そして、その日の給食の時間に物語

でりっちゃんが作る「りっちゃんのサラダ」が登場することを伝えると大喜びでした。

給食の時間になり、さっそく「りっちゃんのサラダ」を食べた子どもたちは「おいしい！」「元気が出るサラダや」「かつおぶしもコンブもお話といっしょ！」とまたまた大喜び。もう一品のおかずにピーマンの肉詰めがあり、最初は「ピーマン苦手」と言っていた子どもたちでしたが「食べてみたらおいしい！」「ピーマンも食べられた」と「りっちゃんのサラダ」効果か？いつもなら絶対食べないという子も一口二口挑戦する姿がありました。給食時間は静かに食べる

ことにしているのですが一人ひとりがつぶやいて、最後には「給食の感想を伝えたい」ということになり、給食調理員さんへお手紙をかくことにしました。

学校給食の献立に学習内容が組み込まれるなんて素敵です。実は、11月25日（前日）には、3年生が国語で学習する『ゆうすげ村の小さな旅館』にちなんだ献立でした。

